

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2020

6月号
vol.647

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



ポケット月刊同友

特集 今こそITを活用しよう!



ぜひ活用ください

コロナに負けない全国掲示板

中小企業家同友会全国協議会の新型コロナウイルス対策本部では、「コロナショック」を乗り越えるため、e.doyu上で全国の会員間の情報交換ができる場、「コロナに負けない全国掲示板」を設置することにしました。同友会活動の活性化や企業や地域を守るための会員間ネットワークの強化などにお役立てください。

特徴

- 「コロナショック」を乗り越えるための会員間の情報交換の場です。
- e.doyu を利用しているすべての会員が、支部や都道府県の垣根を超え、コミュニケーションが可能となります。
- カテゴリ(テーマ別掲示板)による広域の会員交流が可能となります。
- 実名による信頼性の高い運用が可能となります。



- ①「新規投稿」をクリック
- ②投稿入力画面が表示される。件名や投稿したいカテゴリ、内容、写真などを投稿
- ③「トピックス」に表示される
- ④コメントしたい場合は、そのトピックスをクリックし、コメント入力欄に入れて「投稿」ボタンをクリックする

機能

- 自由にトピックス(議題)を投稿し、そのトピックスに対してコメントを投稿、またコメントに対して返信することができます。

現在のカテゴリ

支援策・金融機関編の対応など
(聞きたい、要望したい、使い方など)
商品・サービス情報(売ります、買います)
人材情報(ワークシェアなど)
経営や仕事のお悩み知恵袋
例会などイベントについて
ビジネスパートナー募集

- 投稿記事について「お気に入り」ができ、登録した記事はすぐに抽出することができます。
- 当該機能でのメール配信は行いません。

注意事項

全国掲示板は、仕事や趣味などのテーマ別カテゴリへのトピックスの投稿およびコメントなどを通じて、広く全国の会員との情報交換や新たな学びの場とし、コロナショックを乗り越えるための活用を目的としています。安全に安心して利用するために、個人や特定組織に対する誹謗中傷などの書き込みは禁止されています。社会通念に照らした道徳的な配慮を念頭に交流を行いましょ。

設置期限

本機能はコロナショックの影響が軽減された段階となるまでを設置期限とします。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

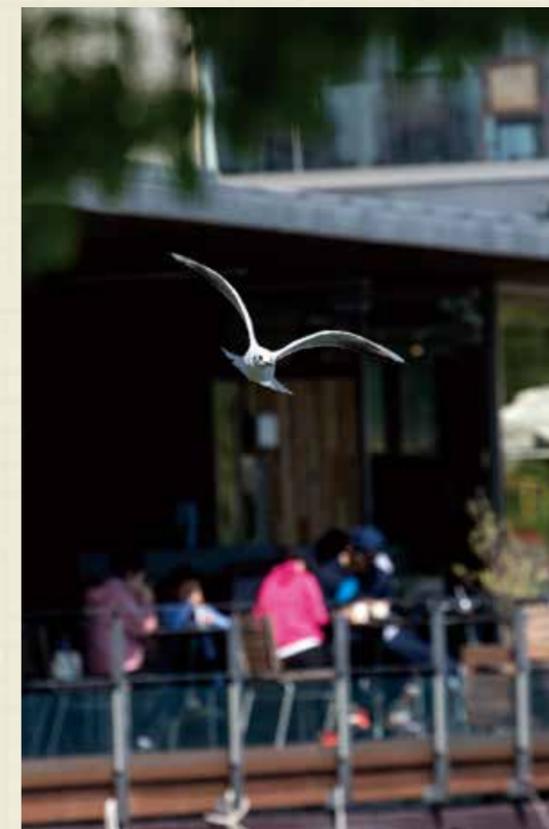
よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

ウミネコ(大濠公園で)

撮影・文 / 間々田 正行(福博支部) 九州の取材.com メニイデイズ



以前のように県や国といったボーダーラインを超えて人々が行きかい、よろこびをわかち合った時間はまだ戻っていないかもしれません。でも、以前のように、いやもっと高みをめざして自由にかけてめぐりたい。そんな願いが多くの同友へ届くことを祈って。

IT部会のWeb例会実施報告

体験し、共有しよう

「Zoom会議」のススメ

2月後半からの新型コロナウイルス感染予防対策により、同友会における対面での各種会合は中止または延期となりました。そのような中、IT部会では3月例会をWeb会議ツールである「Zoom」を活用して実施しましたので、準備経緯やその後の課題も含めて報告したいと思います。



web conference

IT部会 副部長 榎本 典之(南支部) 有限会社エムケイブレン

運営のIT対応状況

IT部会の普段の連絡はFacebookグループにて、議事録やファイルはGoogleドライブで共有しています。役員会ではリモート参加者によりSkypeやZoomは部分的に利用されていましたが、2月例会では世情を受けて改めてWeb配信の提案が行われ、有志のPCとポケットWifiを活用し高評価を得ました。

3月例会の全面Web化へ

2月例会の翌々日から同友会における対面での各種会合は全面自粛となりました。そのため、3月役員会は初の完全Zoom会議となり、ここで初めて使い方を学んだり、結局うまく接続できなかったりしたメンバーも居ました。この経験から例会のZoom開催に手ごたえを得るとともに、初心者用ガイドを準備しました。

3月例会の実施内容

3月例会では司会兼講師の事務所には2名の役員が支援役として参加し、一般の参加者は各々が自社や自宅など好きな場所から接続しました。参加者数は10名程度でした。テーマは「誰でもできるIoT」超小型PCとセンサーの実物取り扱いや画面操作の実演が目玉です。通話用のPC備え付けカメラのほか、手元撮影用と全体撮影用にもカメラを用意し、プレゼン資料や画面操作についてもZoomの画面共有機能を活用することで十分な画質で配信できました。

内容は録画機能で保存もされていまして、見直しや欠席者対応にも便利です。今回はミーティング型でしたのでカメラを有効にしている参加者の様子は一覧で表示されます。全員の表情が見えるため話しやすく、中には仮想背景やアバターを使いこなす方も居て、和やかな雰囲気でした。基本的にはWeb参加とはいえ、支援役の細やかなサポートが有効でした。画面だけではない実在感のある聞き手として、また操作や進行の助言、トラブル対応など様々な補佐として頼りがいのある存在であったといえます。

今後の活用に向けて

Web開催自体は機材等のハードルは低く、気軽に始められます。一方で、準備としては初心者向け案内や発言ルール、進行上の配慮など、経験から理解し積み上げていくノウハウがあるため、できるだけ早く多くの人が体験し、認識を共有することが必要です。

IT部会ではIT企業とITに関心がある企業に役立つ活動をしています。例会の情報はFacebookだけでなくe.doyuでも案内しています。



3月例会チラシ

榎本典之氏のZoom配信機材環境

ミニ三脚付きハンディカメラ

三脚上の広角カメラ

フロントカメラ付きPC

大型ディスプレイ



これらの機器を必ずしも用意しなくてもいいわけではありません。「Zoom」利用方法は12ページからお読みください。

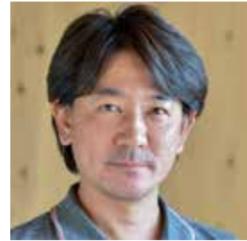
会議用スピーカーフォン

リモートワークの事例報告

顔が見える仕組みづくりが大切

報告者

エクスコ株式会社



代表取締役
すえかね としむち
末包 俊道

事業概要
スマホアプリ、
ウェブアプリの開発
住所
福岡市博多区祇園町8-13
第一プリンスビル1F
TEL
092-261-2250
HP-URL
https://excode.jp

完全リモートワークへ

弊社はコロナの感染が本格化してきた2月後半から段階的にリモート化し、3月中旬より完全にフルリモート化しました。
フルリモートに移行した理由ですが、①従業員とご家族を少しでも感染のリスクを低減させるため、②私含め従業員がすでにウイルス感染している可能性もあり感染源とならないようにするためです。

現在の勤務形態

- 朝9時、夕方17時30分にオンラインミーティング
- 案件ごとに取引先の担当を含めグループチャット
- 業務上質問がある時はいつでもビデオチャット

意思疎通をはかる試み

そこでは次のように勤務形態を変更しました。

リモートワーク開始前の勤務形態

- フレックス勤務
(コアタイム朝10時〜夕方18時)
- 原則残業禁止

フルリモートでの業務を開始した際、働いているのか働いていないのか見えないということが懸念としてありました。
従業員にも個別に確認してみると「私生活と仕事の境目がなくメリハリがない」「デスク越しに質問できない」など様々な意見が出てきました。

朝夕のオンラインミーティング導入でメリハリもつき、必然的に足並みを揃えて業務開始できるようになりました。また雑談も交えることで、どんな悩みを持っているのかも聞くことができました。
就業時間中はいつでもビデオチャットでスムーズに意思疎通できるよう心がけるようにしています。また、案件ごとに取引先とのチャットグループを作り、必ず朝おはようの挨拶と進捗報告などを書くようにするなど工夫することで、顧客ともスムーズに意思疎通できるようになってきました。



りょうちく支部の活動報告



りょうちく支部 支部長
榎原 憲一 氏

榎原支部長へインタビュー

会議のWEB化で広がる可能性

報告者 りょうちく支部 副支部長 柿元 一徳 パーシモンズ 代表者

りょうちく支部では、コロナに関して特別体制発表後においても、現在まで支部活動は例会以外全ての行事をネット上で継続されているとお聞きしておりますが、本当でしょうか？
はい、3月頭の支部役員会からずっと、Zoomを使って役員会、ブロック会、支部内の塾である「咸宜塾」と全て開催しています。

そもそも、なぜ例会以外の行事を継続されているのでしょうか？
非常時だからこそ、コミュニケーションを絶やさずに支部運営を続けることの重要性を支部内のみんなが認識しているからです。

その継続ができた理由は何でしょうか？
①支部内にITに詳しいIT部会員さんがいたので、スムーズに始めることができた。
②支部内に、新しい技術を取り入れたい、興味を持ちたいという方が多くいた。
③高齢の会員さんも他支部に比べて意識が高く、若年者の意見も柔軟に取り入れてもらえる環境があった。

④元々ハイパーレス化ができていた。
⑤ここ数年、りょうちく支部エリア内での災害が続いていたので、非常事態時などのような行動を起こすべきか？何が大事なのか？他支部よりも会員自体の意識が高かった。これらの理由が揃っていたからだと思います。

WEB会議利用において、良かった点とイマイチだった点をそれぞれお聞かせください。
最初は雰囲気慣れず、ぎこちなかったですが、今は普通に議論もできるようになりました。

誰でも気軽に参加できることもメリットですね。特にうちの支部は、元々エリアが広がったので、時間的に移動が難しかった会員さんが参加できるようになったことも、始めてから気づいた長所ですね。
ただし、対面の方が気心知れる部分も多いと思いますので、いつまでもこの状況が良いとは思っていません。時期が来ればメリットの部分を活かす形で「部残しつづ」に戻す予定です。

WEB会議を実施し意外だった点は？
意外に慣れてくるもんだなど。これを契機に会社でも利用し始めた会員さんも多数いて、士業の方との打ち合わせや、業者間の連絡ツールとしても利用されているようです。私も便利さがわかったので、IT関連ツールの情報は意識的に得るようにしました。
支部内でのZoomの利用で手軽さを体験され、自社の毎週の拠点間会議にWEB会議を導入された事業所さんもあります。支部内会員さんそれぞれに生産性向上が見られています。

同友会理念とWEB会議を含めたテレワークについてのお考えは？
同友会の運営においても、参加が難しい方がWEB会議だったら参加できるなど、もっと活用できる部分があるのではないかと考えています。他支部の行事に参加したり、さらに参加が広がったりと利点も多いのではないのでしょうか？事務局含め、会員さんの各事業所の生産性が高くなることは同友会理念とも一致することでしょうし、あくまで手段ですから、適材適所で利用すれば、会にもさらに勢いが出てくる部分

もあると思います。
ちょうど1年前、中央支部の前田雅史さん(株)お掃除でつくるやさしい未来)に例会で報告頂き、テレワークに関しての例会を開催したので、正直な話、その時の会員みなさんの感想は、「これは難しいな...」との意見が多かったです。1年後まさか自分たちがこんなに普通に使っているなど思ってもみませんでした。本場に経営者のやる気次第であり、取り組み意欲を強く持てば、ICT利用の壁は意外に低いことに気づいたことが、今回の大きな収穫でした。
BCPの観点からも、全てを休止するのではなく、少量でも継続することの重要性を改めて感じています。

今後の展望をお聞かせください。
WEB会議に関しては、依然支部内で全員が参加しているわけではありません。そのため、未使用の会員さんへのフォロー活動は引き続き行い、一部長所を活かした形で運営に残す予定です。また有効的なITツールの情報の交換等も行っています。
これを機に、全研や全国総会も一部WEBを利用し、実施していただければ、全国から新たな参加者も増えるのではないのでしょうか。



第112回 景況調査ダイジェスト (2020年1月～3月期)

「歴史的転換期! 生き残りと生まれ変わりの今後3ヶ月。今こそ経営指針書づくり、社員とともに考え、行動を!」

調査要領

調査時 2020年3月17日～2020年3月27日
対象企業 (一社)福岡県中小企業家同友会 全会員企業2,260社(3月時点)
調査の方法 会員専用サイト(一部FAX)にて配信、自計記入

回答企業の概要

回答数 217社の回答(回答率9.6%)(製造業44社、建設業36社、商業流通業30社、サービス業106社 不明1社)
企業規模 0～10名以下………118社 11名～20名以下…38社 21名～50名以下…39社
(従業員数) 51名～100名以下………12社 100名以上………1社
企業の所在地 福岡地区 135社 北九州地区 20社 筑豊地区 35社 県南地区 21社 県外 5社 不明 1社

概況

2020年1月～3月期の状況では、コロナウイルスの影響を受け、すべての指標が大幅に悪化しました。景況感DIは、前回の▲1.7から25.5ポイント悪化して▲27.2となりました。売上高DI及び新規受注DIは前回の調査ではプラス域でしたが、大幅に悪化して売上高は▲28.1、新規受注は▲26.3となりました。業種別の動向を見ると、建設業(設備)は3月時点では影響が少なくプラス域となっていますが、次期予想は悪転しました。全体的にコロナウイルスの影響を受けてマイナス域となりました。特にサービス業(対事業所)ではすべての指標がプラス域からマイナス域へ悪転しました。次期予想DIは建設業(建築)が最も悪化し▲70.6となりました。会員企業からは、2月から中国産の資材輸入が滞っているとの声が挙げられました。

経営上の問題点は、過去15期連続で一番の問題として「人材獲得難」が挙げられていましたが今回の調査では「民間需要の停滞」が最も多くなりました。他にも「取引先の減少」や「官公需の停滞」などの問題点も浮上しています。

特設項目ではコロナウイルスによる影響調査を行ないました。悪影響への対策として、最も多く挙げられたのは「新規受注の確保」続いて「運転資金の借入れ」「人件費以外の経費の削減」などが多く挙げられました。

売上高の前年比見込みについての調査では、半数の企業が「減少する」と回答しました。

経営指針書に関する設問では、前回調査に比べて「作成し実践している」と回答した割合が減少し、「作成に至っていない」と回答した割合が増加しました。「作成し実践している」と回答した企業の景況感はプラス域を推移していましたが、コロナウイルスの影響でマイナス域となりました。経済は歴史的転換期に入っています。コロナウイルスに耐えうる経営指針書の作成が必要となります。

全体的な特徴

コロナウイルスにより全指標大幅悪化!

項目	第111回	第112回	変動幅
景況感DI	▲1.7	▲27.2	25.5%悪化
売上高DI	5.0	▲28.1	33.1%悪化
利益DI	▲3.6	▲28.6	25.0%悪化
新規受注DI	0.6	▲26.3	26.9%悪化
次期予想DI	8.1	▲52.2	60.3%悪化

コロナウイルス感染症の拡大により全指標が大幅に悪化しました。次期予想DIは▲52.2となり今後の経済の悪化が危惧されます。

No.	今期景況判断	業種	所在地	そのような結果の理由
1	非常に良い	建設業(設備)	福岡	年度末特有の業界全体における繁忙時期の影響が大きいと思う。
2	よい	建設業(建築)	福岡	環境経営において常にリスク管理をしているので、リーマンショックのような手づまり感はない。常に不景気に備えている。
3	よい	サ業(対事業所)	福岡	経営指針の計画どおりです。
4	普通	製造業(生産財)	県南	同業他社が先行き不透明感から仕事をめいっぱい取れるだけ取るような動きをとり、その関係で受注価格が下がり、利益率がやや低下した。
5	普通	製造業(消費財)	福岡	暖冬、コロナウイルスによる商品品薄による。
6	悪い	製造業(生産財)	筑豊	新型コロナウイルスによるイベント中止等の自粛による、レンタル関係の減少。
7	悪い	製造業(消費財)	福岡	新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業活動の制限、受注の減少。
8	非常に悪い	サ業(対事業所)	福岡	新型コロナウイルスにて、イベント中止や卒業式中止などの影響にて。
9	非常に悪い	サ業(対事業所)	県南	コロナ→2月89%、3月20%(売上対前年比)
10	非常に悪い	サ業(対個人)	福岡	消費税増税からのコロナウイルスにより消費が冷え込んでいる。

業種・従業員規模・地域別の特徴

業種別の動向

ほぼすべての業種がコロナウイルスの影響を受け、大きくマイナスの値を示しています。建設業(設備)では3月時点では影響が少なく、改善が目立ちますが次期予想DIは減少し、悪転しています。全体を見ると次期予想DIは60.6ポイントの悪化で経済への更なる悪影響が予想されます。

従業員規模別の動向

0名～100名規模までの企業ではマイナス域が目立ちます。特に売上高DIを見るとすべての規模でマイナス域に悪転しています。100名以上の規模では利益DIが改善されプラス域となっています。

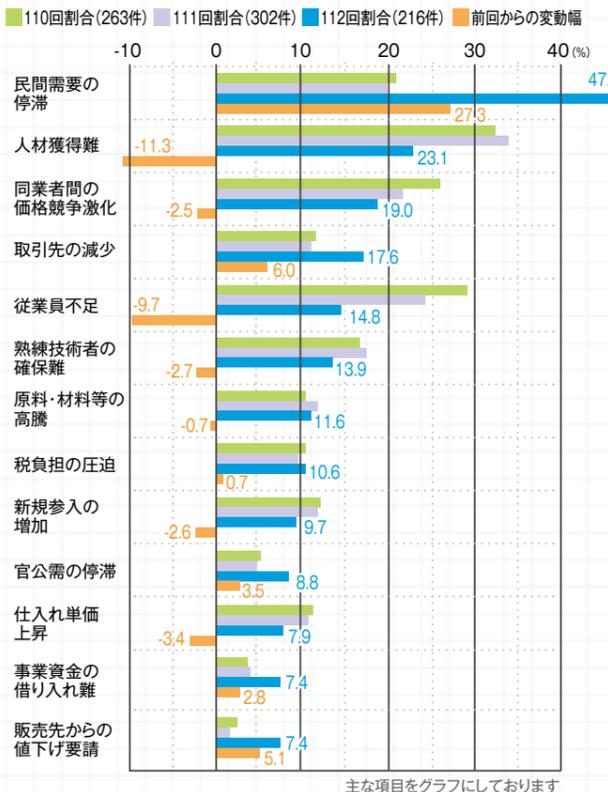
本社地区別の動向

地区別の動向を見ると、すべての地区ですべての項目がマイナス域となっています。地域に関わらずコロナウイルスによってマイナスの影響を受けていることが分かります。

経営上の問題点

●「人材不足」よりも「民間需要の停滞」が浮上

過去15期連続で経営上の一番の問題点として挙げられていた「人材獲得難」ですが、コロナウイルスの影響により「民間需要の停滞」が最も大きな問題として浮上しました。



主な項目をグラフにしております

業種別の経営上の問題点

経営上の問題点を業種別に見ると、ほとんどの業種で「民間需要の停滞」が一番の問題として挙げられています。製造業(消費財)では「事業資金の借入れ難」が挙げられ、建設業(土木・設備)では「仕入れ単価上昇」が挙げられています。

%	全体	製造業(生産財)	製造業(消費財)	建設業(建築)	建設業(土木)	建設業(設備)	商業・流通業	サービス業(対事業所)	サービス業(対個人)
回答件数	216	18	26	18	6	12	30	60	46
民間需要の停滞	47.2	44.4	65.4	61.1	0.0	33.3	50.0	43.3	45.7
人材獲得難	23.1	44.4	19.2	22.2	50.0	33.3	13.3	20.0	21.7
同業者間の価格競争激化	19.0	22.2	15.4	22.2	0.0	8.3	33.3	23.3	8.7
取引先の減少	17.6	22.2	30.8	11.1	0.0	0.0	20.0	20.0	13.0
従業員不足	14.8	27.8	0.0	5.6	50.0	16.7	10.0	16.7	17.4
熟練技術者の確保難	13.9	27.8	11.5	22.2	33.3	25.0	6.7	13.3	6.5
原料・材料等の高騰	11.6	5.6	19.2	11.1	33.3	33.3	13.3	3.3	10.9
税負担の圧迫	10.6	5.6	7.7	5.6	0.0	25.0	0.0	8.3	23.9
新規参入の増加	9.7	11.1	3.8	0.0	0.0	0.0	20.0	8.3	15.2
官公需の停滞	8.8	5.6	3.8	16.7	33.3	0.0	6.7	11.7	6.5
仕入れ単価の上昇	7.9	5.6	3.8	0.0	33.3	25.0	10.0	5.0	8.7
事業資金の借入れ難	7.4	5.6	19.2	5.6	0.0	8.3	3.3	5.0	8.7
販売先からの値下げ要請	7.4	5.6	15.4	11.1	0.0	0.0	6.7	10.0	2.2
協業業者の確保難	6.0	5.6	0.0	22.2	16.7	16.7	0.0	5.0	4.3
大企業進出による競争激化	4.2	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	13.3	5.0	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	3.2	5.6	3.8	0.0	0.0	8.3	3.3	3.3	2.2
金利負担の増加	2.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	4.3
輸入品による圧迫	1.4	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	16.2	0.0	3.8	11.1	0.0	25.0	16.7	21.7	23.9

コロナウイルスによる影響の対応

カテゴリ	件数	(全例%)
新規受注(顧客)の確保	68	31.3
運転資金の借入れ	54	24.9
人件費以外の経費の節減	50	23
対策を検討する予定はない	40	18.4
緊急融資制度の活用	38	17.5
生産・販売計画の見直し	31	14.3
事業や従業員の休業・休職	25	11.5
代替調達先の確保	13	6.0
設備投資の延期・縮小・中止	13	6.0
人件費の節減	13	6.0
在庫の積み増し	10	4.6
物流ルートの変更	5	2.3
融資の返済計画の変更	5	2.3
別拠点での代替生産の実施	2	0.9
自社拠点の一時的な移転	1	0.5
海外関連の事業の縮小	0	0.0
その他	24	11.1
不明	1	0.5
サンプル数	217	100.0

コロナウイルスによる悪影響の対応策として「新規受注の確保」が最も多い回答となりました。その他の項目としては、「罹患の予防」「徹底的な衛生管理」「社内に対策本部を設置」という回答が見られました。

支援策の認知度

カテゴリ	件数	(全例%)
政府系金融機関の融資制度	131	60.4
セーフティネット保証(保証協会)	128	59.0
公的な経営相談窓口	122	56.2
小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得	83	38.2
雇用調整助成金	77	35.5
都道府県市町村の融資制度	76	35.0
テレワーク導入に対する支援	54	24.9
ものづくり・商業・サービス補助金	51	23.5
返済猶予等の既存債務の条件変更	38	17.5
IT導入補助金	35	16.1
持続化補助金	30	13.8
不明	25	11.5
サンプル数	217	100.0

コロナウイルスによる支援策の認知度調査では「政府系金融機関の融資制度」「セーフティネット保証」「経営相談窓口」が回答として多く挙げられていましたが、「IT導入補助金」「持続化補助金」などは少ない回答となりました。福岡同友会でもすべての会員向けに施策情報の配信や、経営相談窓口を設置しています。

3月上前年比見込み

カテゴリ	件数	(全例%)
70%以上増加	3	1.4
50～70%増加	1	0.5
30～50%増加	5	2.3
10～30%増加	15	6.9
1～10%増加	20	9.2
ほぼ変わらない	60	27.6
1～10%減少	34	15.7
10～30%減少	46	21.2
30～50%減少	14	6.5
50～70%減少	5	2.3
70%以上減少	6	2.8
不明	8	3.7
サンプル数	217	100.0

3月の売上高前年比見込みについては、約3割が「ほぼ変わらない」と回答していますが、半数以上の企業が「減少」と回答しています。

経営指針の作成と実践

カテゴリ	第111回 件数	第111回 除率(%)	第112回 件数	第112回 除率(%)	増減
作成し実践している	94	36.6	66	30.8	-5.8
作成しているが実践なし	65	25.3	51	23.8	-1.5
作成に至っていない	86	33.5	90	42.1	8.6
作成する必要はない	12	4.7	7	3.3	-1.4
不明	10	0.0	3	0.0	
サンプル数(%ベース)	267	257.0	217	214.0	-43

経営指針の作成と実践状況を見ると、前回調査に比べて「作成し実践している」と回答した割合が減少し、「作成に至っていない」と回答した割合が増加しています。経営指針書の作成状況と景況感の分析では、「作成し実践している」と回答した企業はプラス域を推移していましたが、今回の調査ではマイナス域に悪転しています。景況分析会議では、今こそ社員と共にコロナの影響にも耐えうる経営指針書を作成しなければならないという意見が挙げられました。

部長談話

コロナ恐慌! 一人で悩まずに
 従業員と自身、企業を見つめ直し、
 人を大切にする経営の実践を!!

一般社団法人福岡県中小企業家同友会
2019年度第12回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2020年4月13日(月) 14時30分~17時40分 出席 37名(出席率82.2%)
会場 Web会議システムZoomにて開催 議長 中野 正志(副代表理事)

協議事項・審議事項

● 新型コロナウイルスへの対応と定期総会 *4月・5月の活動について

1 現状について意見交換 (会員企業・景況調査結果等)

景況調査の結果を確認後、地区・支部・本部などで把握している会員企業の状況が報告された。

2 緊急事態での活動

このような困難な時期ではあるが、定期総会、地区総会、支部総会をできる範囲で開催し、感染症収束後はできるだけ早く通常の活動に戻るための環境を整える。会員のためにも、会活動を止めず、2020年度をスタートさせることが肝心であると判断した。

● 会議、会合について(役員会・例会・ブロック会・地区総会・支部総会等)

感染の急速な拡大による政府の緊急事態宣言発令を受け、福岡県では5月6日(水・祝)までの緊急事態措置が発表された。福岡同友会は、この事態を重く受け止め、会員の新型コロナウイルス感染とその拡大防止のため、4月9日(木)より5月6日(水・祝)までの間、対面での全ての活動を行わない判断をした。打合せや会議、会合は、電話やメール、Web(インターネットやそれに接続されたアプリ)を使用して開催することを推奨し、県及び地区、支部総会に向けての運営会議もWebで行うこととする。

▶ 承認された。

3 地区総会・支部総会について

地区・支部総会については、映像配信システムなどを利用して開催することとする。

▶ 承認された。

中同協関係

● 行事案内(中止及び延期含む)

九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会(5月宮崎)

日時未定で延期となった旨報告された。

中同協役員研修会(6月山梨)

中止となった旨報告された。

女性経営者全国交流会(6月新潟)

11月16日(月)~17日(火)に延期となった旨報告された。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会
2020年度臨時理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2020年5月1日(金) 13時00分~16時00分 出席 33名(出席率73.3%)
会場 Web会議システムZoomにて開催 議長 山田 秀樹(副代表理事)

協議事項

● 新運動方針案について

第58回定期総会では議案書の運動方針案および予算案の内容が、新型コロナウイルスにより急激に変化した現在の状況にそぐわないとし、提案と採決を見送り新たに提案することになったことを改めて報告した。

新しい運動方針案と予算案を決定し臨時総会を開催する。急ぐ件ではあるが、丁寧に意見交換し納得して進めたいとし、新運動方針については地区幹事会、支部役員会、本部・室・委員会で意見をまとめ5月15日までに事務局へ方針に関する意見・提案を提出することとした。集約した意見をもとに5月20日の正副代表理事会で再検討し、5月27日の理事会での意見を盛り込んだ方針を確認していく。

● 臨時総会までのスケジュール 代表理事より提案された。

- 5月27日の理事会で議案確認を行い、6月下旬に臨時総会を行うスケジュールですすめる。

- 当面の活動については6月末まで対面での活動を行わない。

▶ 協議の結果、左記2点を確認した。

6月の行事案内

16 火 18:30~21:00

大牟田支部
6月例会

みんなどうしてる?コロナに負けるな!コロナ対策例会(仮)

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

16 火 18:00~20:00

糸島支部
6月例会

仲間の経営状況を知り、自社の対策に活用する

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■ 業種別代表3名(現在未定)

コロナの感染拡大の影響で景況悪化時期だからこそ活動を止めず、学び、実践し続ける為に例会を開催する。①コロナウイルスの感染拡大による自社の影響②現在行っている対策③課題に対して今後やるべきこと、備えておくべき物の3点について報告頂く。

16 火 18:30~21:00

博多支部
6月例会

理念とビジョンを使い倒せ!!

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■ 鈴木 貴人氏 株式会社フリーランス 代表取締役 博多支部

鈴木さんは、中小企業のIT化推進を中心とする業務支援の個人事業を一人で開業しました。同友会に入会後、事業を拡大するためにどうやって組織づくりをすればいいのかわからず悩んでいました。作成した経営指針を何度も見直す中で、自分にとっての最適の組織は、フリーランスでの協業という道が見えてきました。現在は、自社を法人化し、外部のフリーランスとともに理念・ビジョンを共有してチームによる仕事をしています。このように鈴木さんが、理念・ビジョンが明確になったことで自社の経営課題の解決方法が見えてきたという事例をもとに経営指針書の大切さを多くの方に知ってもらい、取り組んで頂きたいと思っております。

16 火 18:30~20:30

玄海支部
6月例会

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

17 水 18:30~21:00

のおがた支部
6月例会

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

18 木 18:30~20:30

西支部
6月例会

みんなどうしてる?コロナに負けるな!コロナ対策例会

~雇用調整助成金・緊急融資・給付金・その他~

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■ 多比良 修氏 社会保険労務士法人 たひら労務管理事務所 社会保険労務士 西支部

■ 文下 博美氏 ウィズユーコンサルティング 代表者 西支部
第1部:コロナショック下において、急激に売上が下が中、自社を守るのと同時に雇用を守り、社員さんとともに危機を乗り越えるため、活用できる制度を学びます。
第2部:売上が減少する中、企業存続のために絶対必要な資金の確保の方法やポイントを学びます。

18 木 19:00~21:00

青年支部
6月例会

新型コロナウイルスへの対応

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

実際に資金を調達された会員さんに実体験を報告頂く。実際に店舗を休業された会員さんに実体験を報告頂く。企業内外で感染防止対策の実体験を報告頂く。

18 木 18:30~21:00

りょうちく支部
6月例会

同友会運動と経営

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■ 新内 一秋氏 株式会社筑紫工業 代表取締役 南支部

18 木 18:30~21:00

中央支部
6月例会

コロナの始まりから現在

~もがき苦しみながらも私たちはこう進む!~

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

■ 橋本久美子氏 株式会社吉村 代表取締役社長 東京同友会

■ 前田 雅史氏 株式会社お掃除でつくるやさしい未来 代表取締役 中央支部

■ 三輪 公平氏 I-WA-MI株式会社 代表取締役 中央支部

コロナの影響による経済悪化、売り上げ激減や雇用維持など、なんとか会社を死守しなければならぬ経営者のストレスは大変なものです。そして大きく環境が変わった今、私たち経営者はどうあるべきかを学ぶ必要があります。そこで、もがきながらも前向きに戦う経営者を迎え、同友会ならではの学び、共生に立ち返り、まずは元気な様子で熱量が伝え、元気・勇気・希望を抱き、明日からのさらなる活力へつなげる例会を開催します。

18 木 18:30~21:00

福友支部
6月例会

1社もつぶさない。

~ウィズコロナ時代を生き残る。今できること、すべきこと~

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

平時ではなくなってしまった今、このコロナ禍を生き抜くために会員の皆さんが困っていることを少しでも解決する機会が必要かつ意義があると考えます。この緊急時、同友会会員の力を結集して、悩みや課題を解決し、1社1社が乗り切れるようにしていきます。

18 木 18:30~21:00

飯塚支部
6月例会

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

18 木 18:30~21:00

東支部
6月例会

新型コロナウイルスに関する相談会(仮)

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

新型コロナウイルスに関する情報交換や相談ができる場を企画予定です。詳細が決まり次第、e.doyuにてご案内いたします。

18 木 ※時間は未定

有明支部
6月例会

2021新卒採用オンライン
合同企業説明会

6月19日(金) 13:00~15:00

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

19 金 18:30~21:00
(予定)

久留米支部
6月例会(予定)

■ WEB開催を含め検討

25 木 18:30~21:00

田川支部
6月例会

■ WEB会議システム「Zoom」(※ミーティングID等は別途連絡)

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで
お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

Zoomの導入・使い方

試そう! 活用してみよう!!



作成▶福岡同友会事務局 石野 泰隆

現在、新型コロナウイルス感染症が日本国内外に関わらず広がり、私たちの生活に様々な影響を与えています。特に緊急事態宣言の発令以後の大規模な自粛の流れは、会員企業の経済活動に大きな影響を与えています。またそれに伴い、テレワークやWEB会議システムを活用した経済活動が活発的に行われるようになってきました。そこで会員企業の皆様たちに向け、現在よく利用されているWEB会議システム「Zoom」の導入の仕方、使い方についてまとめました。ぜひ活用下さい。



01 Zoomとは

「Zoom」とはパソコンやスマートフォンを使用し、セミナーや会議をオンラインで行うことができるアプリケーションです。似たアプリケーションにSkypeなどがありますが、Zoomは中でもよりセミナーや会

議での使用に特化したアプリケーションです。具体的には、100人程を同時接続させた状態によるミーティング(会議)やグループディスカッション、画面の共有などを行うことができます。またメールアドレスさえ分かればお手軽に参加者への招待を送ることができます。

02 導入編

なにもない状態からの導入

- 1 検索ブラウザ(Googleなど)で「Zoom」と入力し、検索する。
- 2 検索結果にある「Zoomミーティング」をクリックしてください。
- 3 表示された画面にメールアドレスを入力し、「サインアップは無料です」という表示をクリックしてください。



- 4 メールアドレスが間違っていないかを確認し、「確認」ボタンをクリックしてください。
- 5 画面に「(登録したメールアドレス)にメールを送信しました。Zoomを開始するには、メール内の確認リンクをクリックします。」という内容が表示されます。メールボックスを確認してください。



- 6 届いたメールにある『アクティブなアカウント』をクリックしてください。



- 7 『Zoomによるこそ』という画面が表示されたら「名字」「名前」「パスワード」「パスワード(確認用)」をそれぞれ入力し、『続ける』ボタンをクリックしてください。



- 8 『仲間を増やしましょう』という画面が表示されたら「手順をスキップする」をクリックしてください。

- 9 『テストミーティングを開始』というが表示されたら表示されているURLをクリックしてください。リンク先の画面にて、自動的にアプリケーションのダウンロードを始めます。始まらなかった場合には表示されているURLをクリックしてダウンロードしてください。

- 10 パソコンより『このアプリによるデバイスに変更を加えることを許可しますか?』と表示された場合には許可してください。

- 11 本画面が表示されれば、ダウンロードが完了し、使用できるようになります。



03 使い方編(参加者視点)

必要な物

Zoomを使用するにおいて必要なものは次の2つです。

- ①イヤホン、マイク(イヤホンマイクでも可)
- ②Webカメラ

この2つを用意していなくても参加することは可能です。その場合、Zoomはパソコンやスマートフォンに備え付けられているスピーカーやマイク、カメラの使用を試みます。そのため、こちら側の音声が相手に伝わらないという事例が、マイクのついていないパソコンで発生することがあります。またスピーカーから出た音声をマイクが拾い、ハウリングが発生することもあります。

ミーティングに参加する方法

- 1 まずメールにて右図のような文章が送られてきますので、メールに記載されているURLのリンクをクリックしてください。

※URLのリンクから飛べない場合には、URLをコピーして、検索欄に貼り付けてください。



05 ミーティング中の操作画面について

1 セキュリティ



待機室の有効化、ミーティングのロック、画面共有の有無などについて設定できます。待機室については、2の項目を参照ください。ミーティングをロックした場合、その後誰もミーティングに参加できなくなるので、見知らぬ人の参加を防ぐことができます。画面共有についても、その都度参加者に許可をすることによって、見知らぬ人が入ってきた場合に会議を別の画面などにして乗っ取ることを防ぐことができます。



2 参加者の管理



待機室からの参加者の入室許可、参加者の名前の変更などができます。

3 チャット



参加者全体、もしくは参加者個人にチャットを送れます。もしマイクが聞こえていない場合でも、チャットをすることによって参加者とコミュニケーションが取れます。例えば、発言をしているようだが何も聞こえず、こちらからの呼びかけにも応じない場合に、チャットを使って発言が聞こえていない旨を連絡することができます。

4 画面を共有



今開いている特定のファイルやデスクトップの画面をみんなに見せることができます。資料が手元がない人にも、資料を渡すことなく見せることが可能です。会議の際、決まった内容を画面共有することで、決定事項を確実に共有することもできます。

5 ブレークアウトセッション



参加者をグループに分けて、そのグループごとにミーティング(会議)ができるようになります。グループ討論やグループワークをする時に便利です。(事前の設定が必要です。Zoomのウェブページにてログインし、設定画面からブレークアウトセッションを有効にしてください)

2 右図のような画面が表示されたら、自動的にアプリケーションのダウンロードが始まります。

(2回目以降は自動的にアプリケーションが立ち上がります)



3 右図の画面が出ましたら参加準備完了です。



04 使い方編 (ホスト側視点)

ミーティングを設定する

- Zoomアプリを立ち上げ、「サインイン」をクリックしてください。
※IDとパスワードを求められますので、所定のIDおよびパスワードを入力し、サインインをしてください。
- メニューが出てきますので、スケジュールをクリックしてください。

- ミーティング (WEB会議のこと) をスケジュールする画面が表示されますので、会合名、開催日など必要事項を入力してください。
- ミーティングを設定できましたら、参加者の皆さんに、リンクのミーティングID・パスワードをお知らせください。

ミーティングを始める

- Zoomにログイン後、上のメニューにあるミーティングをクリック

※事前にスケジュール設定をした会議が表示されていますので、開始ボタンをクリックして会議を始めてください。



- 開始する前に、どの音源で参加するか尋ねてきた場合は、「コンピューターでオーディオ参加」をクリックしてください。もし初めての機器で参加する場合は「コンピューターオーディオのテスト」をクリックし、事前に正常に会議に参加できるか試してください。
- 会議中のメニューの説明です。メニューが画面の下に表示されます。表示されていない場合は、マウスポインタを画面下に持ってくると表示されます。

06 Zoom使用における注意点

- 参加リンクおよびミーティングID・パスワードは、参加者および参加対象者のみにお知らせしてください。SNSなどを利用して公開してしまうと、不特定多数の人が参加できるようになり、関係ない人が参加し、会議を邪魔する事例が出ています。
- 必ずパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと、ミーティングIDを適当に入力するだけで参加できるようになってしまい、見知らぬ人の参加ができるようになってしまいます。

- 待機室を有効化することで、入室させたい人を選択できるようになります(見知らぬ人の参加を防げます)。
- 電話で参加することもできますが、話中であることもあり、またどなたが参加しているかが分からない(カメラもなく、名前入力がないのですぐに誰かもわからない)ので、電話での参加は推奨していません。





いま話題のテレワークをテレ取材! その効果と改善点!!

株式会社ワイコム・パブリッシングシステムズの場合

九州の取材.com メニイデイズ 代表 間々田 正行 (福博支部)

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて話題となっているテレワーク。それをいち早く実行した福博支部のワイコム・パブリッシングシステムズをネットを介してテレ取材。その効果や改善点、さらに将来の展望を伺いました。

ワイコム・パブリッシングシステムズは博多駅前に事務所を構え、代表取締役の田上恭由さん以下6人体制でホームページ制作やマーケティングを行っています。同社がテレワークへ移行したのは3月2日。それ以前、新型コロナウイルスの影響を回避するため時差出勤を始めましたが、逆に混雑に巻き込まれることになったという社員の声で決断しました。ただし、田上社長だけは出社しZoomというソフトを使ってふだん通りに経営理念斉唱や報告事項・連絡事項確認などを社員全員と行っています。

こうしたなか、田上社長が経営者として利点を挙げているのは、感染リスク軽減による社員の安全確保と、通勤時間がなくなったことで生まれる生産性の向上です。さらに顧客とのやり取りもZoomを利用することで効率がアップ。ソフトの機能を生かして関係者複数と同時に打ち合わせが可能になり無駄な時間がカットできたうえ、顧客先への移動時間や交通費の削減につながっています。なお、新規営業活動もZoomで行い、訪問数が激減したことで同様な効果が見られたといえます。

では、社員はテレワークをどう感じているのでしょうか。アンケートにご協力いただいた結果、「通勤時間がなくなってゆとりができた」「自分に合った仕事環境(温度調節、思い立ったらストレッチができるなど)が作れる」「コロナの影響で事業継続が困難になっている中小企業や自営業が多いなか、感染リスクを抑えて仕事ができていることはありがたい」「平日でも家族と一緒に夕食を取れるようになった」といった歓迎の声が多く寄せられました。

一方、「ほかの社員の仕事の進行具合がわからない」「社員間のコミュニケーションが取りづらい」「チャットでのやり取りが主なので、文章(表現)力が必要になる」「チャットでのやり取りのおかげで、自分の考えを整理してコミュニケーションを取る力が付いた」「わからないことが出てきたらタイミングを気にせず質問・やり取りができる」と、キャリアや担当ポジションによって感じ方が分かれるところもある



ようです。

また、今後に向けて改善したいと挙げられていたのが「運動不足」「仕事とプライベートの切り替え」「集中力の維持」という点。「人恋しくなる」との声もありましたが、メリットが上回ると感じている社員が多く、これを機会に自然災害で出勤困難な状況が起きてもテレワークにスイッチできる体制が整備できたらという意見がありました。

田上社長はテレワーク導入について「今までとほとんど変わりなく業務が行えていることに驚いています。特に顧客との打ち合わせも自宅から問題なくできており、これこそ働き方改革になっています」といい、今後は働く場所を自宅や気に入った場所で自由に選択できるほか、新しい感性を持った人や遠隔地からでも人材を採用できると予測。同社の業務対象外だった離島や他県の顧客獲得も可能になると期待を寄せますが、反面、東京などにある大手や実力を備えた同業者が台頭することが考えられ、ビジネスのやり方を大幅に変えていく必要があると気持ちを引き締めています。

いずれにしてもアフターコロナになった際、働き方のスタイルは大きく変化していくはず。現代社会が直面した未曾有の危機を乗り越え、いかにチャンスへ切り替えていくか、経営者の手腕が問われてくるでしょう。

ワイコム・パブリッシングシステムズさま、取材ご協力ありがとうございました。

なお、テレワーク導入に関わり、IT導入補助金2020特



別枠(C類型)、小規模事業持続化補助金<コロナ特別対応型>といった補助金・助成金があります。詳しくは福岡同友会事務局までご相談ください。

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索